







F成 26 年 11 月 25 日(15.000 部) 発行

2014.11 Vol.52

〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代) http://www.jhs.ac.jp http://www.jec-jp.org/ FAX.03-3360-8584

景気回復の傾向で求人も増加

- 10月末で82%内定へ -

校長 石塚 勉

2011年の東日本大震災 から3年を経過、ホスピタリ ティ業界の回復も進み、企 業からの求人数も、10月末 現在、昨年対比で555社か ら682社へと12.3%の増加



を示し、内定率も82.3%となりました。

日本の観光立国を主導する国土交通省 観光庁の政策により、観光業界では、マレーシア、タイ、ベトナム、そして中国への 一定の条件付で観光ビザ発給の規制緩和、 更に円安などの影響を受け、来日外国人旅 行者数が増加傾向にあります。昨年、悲願 の来日外国人旅行者1,000万人を突破し、 2020年には、新たに2,000万人の目標が 掲げられました。景気回復の兆しの中で、 商用及び観光目的の訪日者が多くなることは、都内ホテルの稼働率が90%を超え るなど、ホテル業界にとっては大きな追い 風になっています。

こうした時代を反映して、企業の採用も増加しているのが現状です。12月までには、内定率も93%に達するものと予想されます。だからと言って、最終学年の学生諸君には、安閑とすることなく、ホテル学校の卒業生として、期待される要件を整え、最後の学校生活、就職活動に臨んでもらいたいと思います。未内定者には、一層の努力を、進路決定・内定者には、新しい環境に巣立つ準備を心がはるよう期待しています。

世界の観光業界を結ぶスコールクラブ ~87 カ国に 398 のクラブ、16,678 人の会員 ~ヤングスコール/スチューデントスコールの発足も



今回は、日本では余り知られていない組織、スコールクラブについて、ご紹介したいと思います。日本でスコールクラブ東京が設立されてから、ちょうど50年が経過、今年4月16日には、内外約130名の関係者が帝国ホテルに集まり、創立50周年記念を祝いました。

スコールクラブは、1932年ストックホルムとパリを結ぶ飛行ルート就航を契機として、1934年「観光業界幹部の友情」を基に、フロリモンド・ボルカート氏が関係者と協議、パリを中心に5カ国12クラブで発足しました。現在、スペインのトレモリノに本部を置き、87カ国に398クラブ16,678名の会員を有する、観光業界最大の民間国際組織となっています。日本では、1964年、航空、旅行、ホテルなどの観光業界幹部の人達が中心となって「スコールクラブ東京」を設立、現在では、東京、名古屋、大阪にクラブがあり、約150人が会員となっています。いわば、観光業界のライオンズクラブ、ロータリークラブのような組織です。

「観光業界幹部のリーダーシップ、プロフェッショナリズム、フレンドシップを通じて、ネットワーキングの機会を最大限にし、共に観光業界を支援して行こう」というのが目的、使命となっています。各クラブでは、毎月定例会、そして国別、地域別の大会、世界大会が年1回開催され、交流が促進されています。会合開始に際しては、「Skalleague is everywhere, Happiness, Good Health, Friendship, Long Life, Skal!」が全員で唱和され、シャンパンで乾杯する慣習になっています。なお、「スコール」とは、スカンジナビア地方の言葉で「乾杯」の意味。

スコールクラブでは、これまで企業の役員・

幹部が会員でしたが、次世代を担う人達の育成を視野に、「ヤングスコール」、「スチューデントスコール」という新しい会員のカテゴリーを作り、若い人達の参加を呼びかけています。既にローマでは約60人の学生が会員となり、次世代への準備を開始、約400のクラブもこうした方向で動きはじめています。観光業界もグローバルな動きになっていますので、こうした若い人達の組織ができ、各クラブ間の交流促進は、個人にとっても、企業にとっても、ひいては観光業界にとっても有益な動きと思われます。2014年度から本校の石塚勉理事長・校長が日本会長に就任したことから、JHSでも何らかの係わりを持っていきたいところです。



国際ホテルマネジメント専科卒業式典を挙行

~ 11 期生 11 名が卒業 ~

2014 年度国際ホテルマネジメント専科の卒業式典が 10 月9日、ホテルメトロポリタンで挙行されました。

大学とのダブルスクールや、大学卒業後、また海外の学校を卒業してから 入学した卒業生に、石塚勉校長から卒業証書が手渡されました。

また、同卒業式典には日本ホテル株式会社常務取締役・ホテルメトロポリタン総支配人塩島賢次様にご出席いただき、ご祝辞をいただきました。

夜間部国際ホテルマネジメント専科は、大学・短大を卒業した方や、大学とのダブルスクールで通学する方を対象とした 1.5 年制のカリキュラムで編成したコースです。1年目は週3回、2年目は週4回の通学で短期間にホテル・ブライダル業界への就職をめざします。1日2時間の授業でゆとりを持って学びながら、空いた時間はダブルスクールや個々の興味の範囲を広げる活動にも充てることが可能です。今年の卒業生は、国内のホテル関連企業に就職を決めるなど、その成果は大きく現れています。











式典・記念パーティともに、ホテルスクールの卒業生であるホテルスタッフにより運営され、卒業生にとっては未来の姿を、参加した教職員には立派なホテルマンへと成長した卒業生の姿をみることができ、感慨深いものとなりました。

1年生恒例の行事 球技大会を実施

~ 1 年生学校行事 ~

専門学校日本ホテルスクール恒例の1年生を対象とした学校行事「球技大会」を、6月30日東京都足立区「東京武道館」で開催しました。この学校行事は、4月の入学以来、ボウリング大会、ステイマナー宿泊研修に続く学校行事として、学校生活が充実してきている中で開催し、バレーボールという競技を通じて、クラスの親睦を深め、チームワークやコミュニケーションの大切さを知ることを主な目的として開催しています。









ホテル日航東京「日本料理レストランさぐらJUSで

和食体験では、都内のホテルの日本料理レストランにて会席料理のマナーを学びました。料理は、前菜、吸い物、刺身、煮物、焼き物、ご飯、漬物、味噌汁、デザートという順番で、それぞれの解説の後に、マナーに沿って実食の体験をしました。学生は、お箸の使い方に四苦八苦しながらも、和食の奥深さを学びました。今回は、和食の料理長自らも指導にあたっていただき、学生には貴重な経験になったことでしょう。

「和食体験&ホテル見学」を実施

~ 1年生学校行事~

当校では1年生を対象に「和食体験&ホテル見学」を実施しています。この行事は、会席料理を体験することによって和食を身近に感じ、和食に関心を持つことと、ホテルを見学することにより将来の進路を考えるとともに、就職観を養うことを目的としています。

2013 年 12 月に「和食;日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録され、「和食」をはじめとした日本の食文化が注目されています。日本の食文化を次世代へ継承するための活動が展開される中、本校でも「和食体験」を通じて、日本の食文化の理解を深めています。





観光業界一大イベントに参加 ~ JATA Tourism Expo Japan 2014 ~



アジア最大規模の観光イベント「Tourism Expo Japan 2014」が、9月25日~28日に東京ビッグサイトで開催されました。実習中の学生、カナダ、オーストラリアに留学中の学生を除く740名が学校行事の一環として9月26日参加しました。

本校では毎年このイベントに力を入れており教職員も 10 数名が参加して協力体制を組んでおります。

昨年は訪日外国人渡航者が初めて 1000 万人を超え、今年は円安の影響もあり、さらに伸びていることから各国のブース、国内ブースとも活況でした。2020 年の東京オリンピック開催に向けて、国内観光産業は大きな発展が望めますので今後の業界動向に注目が集まります。

観光業界の発展には、若い活力、人材が不可欠です。本校の教育では業界に貢献できる人材育成に向けて今後も努力してまいります。







第26回人事担当者研修会・懇親会を開催 ~ ヒルトン小田原リゾート&スパ~

本校学生の就職活動に対し深い理解とご協力を頂いた企業に対する感謝、親睦と参加者相互の啓発を目的に、10月17日~18日の日程で人事担当者研修会・懇親会が、ヒルトン小田原リゾート&スパで開催されました。



当日は、44 社、67 名 (内初参加者 26 名)のホテル、ブライダル、レストラン企業の人事担当者の方々にご参加を頂き、ヒルトン小田原リゾート&スパの施設見学からスタート、広大な敷地を歩きながら客室、フィットネスジムからスパ、テニスコート、ボーリング場まで併設されている、多様なアクティビティが可能なホテルを見学しました。

続く研修会では、本校の「ホテル会計」講師石渡雅浩氏を迎え、人事担当者の方々が新人研修を行なう際のヒントにしていただくことを主眼に、「今さら聞けないホテル会計の基礎知識」をテーマに行われました。講義は授業で話していることを中心に、学生が理解しやすい表現方法で構成され、参加者の方々より好評を博しました。

Ecole Hôteliere de Lausanneの学生が来校

~ 英語専攻科2年生と交流 ~

Ecole Hôteliere de Lausanne (スイス・ローザンヌホテルスクール) でホテルマネジメントを学んでいる Alban Doliveux さんが 9月 29日、英語専攻科 2年生と交流を行いました。Alban さんは、今年 6 月からザ・ペニンシュラ東京でインターンシップのため来日しています。

右から Aban さん、 ザ・ベニシシュラ東京 人材開発部相談役中谷様

同じ志を持つ英語専攻科2年 生との交流は、Alban さん、そして英語専攻科の学生にとって良い機会になりました。英語専攻科2年生の学生とは、「日本のおもてなし」について「欧米と日本とのホテルサービスの違い」などディスカッションし、Alban さんの感じた「おもてなし」、日本人の感じる「おもてなし」について活発な意見交換を行いました。





ブライダル科2年生 特別授業を実施 ~ 働く意味を考える ~

昼間部ブライダル科 2 年生を対象に 9 月 16 日、Coco style WEDDING を主催する荒井さやか氏による特別授業を実施しました。

「なぜウエディングを仕事にしたいのか」「働く意味は」ということを考え、話し合い、自分たちの気持ちに向き合うことで、ウエディングという楽しくも大変なことを仕事にする覚悟を学生たちは実感しました。

また、2時間を超える打ち合わせ中、お客様の話を 笑顔で聞きながら要点をメモすることは難しく、その ためには今から訓練をする必要があることなど、現役 のウエディングプランナーだからこそ聞ける話をたく さん聞き、学生たちは刺激を受けました。

今後も「ブライダル総論2」の授業では、現役のウエディングプランナー、ドレススタイリスト、施設の支配人などから講義をしてもらう予定です。



パートナーシップ大学を訪問

~ アメリカ&カナダ~

当校と交友関係のある Paul Smith 's College (ポールスミス大学) と Douglas College (ダグラスカレッジ) を井上浩先生と黒田先生が、7月27日~8月3日の日程で視察しました。

Paul Smith's College (アメリカ)



Paul Smith 's College はアメリカニューヨーク州のリゾート地であるアディロンダックという地域に位置し、本校の卒業生の編入先として実績もある大学です。学内での講義だけでなく、インターンシップ体験や観光関係者との交流会など業界に触れる機会を設け、学生に旬のホスピタリティ情報を提供しています。

都会から人里離れた大自然の中の広大なキャンパスは環境と観光を学ぶには最適な場所と言えます。

周辺には今までに冬季オリンピックが2度開催されたプラシッド湖があり、夏は避暑地として、冬はウィンタースポーツを楽しむレジャースポットとして、季節を問わず人気の観光リゾート地でもあります。

今年9月より、今悠太さん(2014年卒業)がホスピタリティ・マネジメント学部へ編入学しています。

ポールスミス大学より大学関係者が来校

大学編入担当部長 Amy Tuthill 氏が 9 月 18 日に来校しました。 今回の大きな目的は、意見交換と 2 年生英語専攻科学生への向けての大学紹介を兼ねた編入学プログラムのレクチャリングです。 レクチャリング終了時には、早速学生からの活発な意見が出て、 学生には大変興味深い時間となりました。





インドのホテルと協力体制 ~ タージ ホテルズ リゾーツ&パレス ~

本校とインドを代表する財閥「タタグループ」のホテル「タージ ホテルズ リゾーツ&パレス」との新しい関係構築のため、石塚勉理事長・校長、武内悟副校長、中山万作先生の3名が8月4日~9日にムンバイにある「タージ マハール パレス ムンバイ」を訪問しました。

今回の訪問は、日本企業によるインド進出の増加に伴い、今後の日本人マーケットを重要視するホテル側の日本人スタッフの人材確保に関する話し合いが主な目的でした。

当日はラマナ・マーシー上席副社長をはじめ、ラストム・ヴェサヴェヴァラ副社長と佐藤誠営業副部長(2004年卒業)が同席し、今後の展望や協力体制、求める人材、様々な条件などを中心に有意義な意見交換が行われました。



Douglas College(カナダ)

本校の海外留学制度の留学先の一つである Douglas College はカナダのブリティッシュコロンビア州にあります。

キャンパスは住宅地に位置していますが、バンクーバー市民の脚であるスカイトレインに乗



れば繁華街のバンクーバーまで約30分のアクセスです。

キャンパス内は施設がコンパクトに配置され、授業間の移動も 不便さを感じません。

夏は日照時間が長く、放課後も課外活動など充実した時間がもてます。

JHS は海外大学との多くの「つながり」を持っているのも特徴の一つです。異文化で学ぶことで日本と違ったホスピタリティを実感できます。



フィリピン パーペチュアル大学との交流促進 ~ 石塚勉校長が記念講演 ~

本校とフィリピンのパーペチャル大学 (=UPH 大学) との具体的な交流開始を記念して、石塚勉理事長・校長をはじめ勝俣伸理事、野田兼義評議員、川上忠道副校長4名が7月24日~27日、同大学を訪問しました。



2012 年、UPH 大学と単位互換による編入学の協定調印、そして 2013 年、1年生の海外研修旅行実施に伴い、400 名以上の学生が 同大学を訪問して両校の教職員および学生間の交流を深めました。

今回は、その受入への御礼を兼ねて訪問しました。両校の継続的なパートナー関係を進展させるため、友好のシンボルとして「ア



カシア」の苗木を校舎前の 庭園中央に植樹、その後、 式典を行いました。

また同大学からの依頼により、ホスピタリティ経営学部の450名の学生を対象に、石塚校長が「日本の観光/ホテル産業」と題して、記念講演を行いました。



HS同窓会 便

卒業生が業界会報誌に掲載されました ~ 2014年卒業 緑川知恵子さん~

卒業生の緑川知恵子さん(2014年卒業)が、一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技 能協会の会報誌「HRS NEWS 瓦版」8月号に掲載されました。

緑川さんは今年2月に開催された「第8回 HRS サービスコンクール 2014」カレッジ部門で金 賞を受賞。

掲載誌ではサービス業に興味を持ったきっかけ、コンクールでの感想、そして今後の抱負など を語っています。

本校卒業後、日本ホテル株式会社に入社し、現在はホテルメトロポリタン丸の内の Dining&Bar 「TENQOO(テンクウ)」で活躍しています。



今年2月20日に開催されました、第8回HRSサービスコンクール、 カレッジ部門に出場した緑川知恵子さんは見事優勝の快挙、金賞を 受賞しました。また、昼間部ホテル科2年の今井悠介さんが銀賞、夜 間部ホテル科1年の松岡史花さん(が銅賞を受賞し、本校学生が表 彰台を独占、併せて「最優秀学校賞」を受賞しました。

大切な言葉は「感謝の気持ちを忘れない」

第8回HRSサービスコンクール2014

海外で活躍する卒業生

韓国 - ソウル

1988 年に本校を卒業した韓国人留学生 Kim, Jae Jeong さんは、現在、韓国ソウル の「Lotte Hotel Seoul」(ロッテホテルソウ ル)でセールスチームのマネージャーとし て活躍しています。

Kim さんは本校卒業後、韓国に帰国し同 ホテルに就職。総支配人秘書、社長秘書等 を経て、現在はセールスチームのマネー ジャーとして責任ある立場で仕事に励んで います。

「来年は日本と韓国の国交正常化 50 周年 を迎えます。これを契機に、両国の文化、 観光、スポーツなどの交流が更に活発にな ればと思っています。これからも両国の架 け橋となってロッテホテルで頑張ります。 そして、学校の同窓会韓国支部長として何 かお役に立てることがあればぜひ協力して いきたいと思います。」と語っていました。



アメリカ - ハワイ島



ハワイ島のフォーシーズンズ リゾート フ アラライ アット ヒストリック カウプレフで、 リゾートアシスタントマネージャーとして活躍 している卒業生の三宅可奈子さん (2001 年 卒業)が休暇のため帰国し、来校しました。

三宅さんは卒業後、「海外ホテル研修生制 度」を利用してスイスホテル研修生としてスイ スのホテルで1年間研修を行い、研修後 フォーシーズンホテル上海で2年、フォー シーズンズリゾート モルディブで4年半、 フォーシーズンズ リゾート ランカウイで2 年の海外勤務経験を経て、2013年6月より、 現在のホテルで活躍しています。

三宅さんは「これまで挑戦し続けることが できたのは、学校の先生のアドバイスや学校 のサポートのおかげ」と振返っていました。そ のようなアドバイスやサポートがあったことで、 卒業してからより一層、学校との密接な繋が りを強く感じているそうです。

マレーシア - ペナン

マレーシアのペナンにある高級リゾート ホテル「シャングリ・ラ ラササヤンリゾー ト&スパペナン」に勤務する卒業生の橋 本久美さん (2009 年卒業) が、休暇を利 用しての一時帰国中に来校しました。

橋本さんは本校卒業後、マレーシアの「ト レーダーズホテル・ペナン」で2年間勤務 していましたが、今年の春より現ホテルに 異動となり、ゲストリレーションズの重責 を担っています。

海外勤務3年目となる橋本さん。「いず れは日本のホテルで海外のお客様をおもて なししたい」と夢を語ってくれました。



卒業生の皆様へ

= 海外からの求人情報 =

現在約 70 名の卒業生が海外で活躍して います。三宅さんや橋本さんのように海外 のホテルでキャリアアップを図りたい方は、 積極的にご応募下さい

- ■ベトナム: Hotel Nikko Hanoi (GRO 1名)
- ■モルディブ:①Coco Collection (GRO 1 名) 2 Robinson Club
- ■マレーシア:The Bar KL(バーテンダー)
- ■マレーシア・フィリピン:シャングリ・ラ研修 (GRO 1名)

詳細については、 川辺(kawabe@jhs.ac.jp)

黒沢(kurosawa@jhs.ac.jp)まで お問合せ下さい。

東京

ザ・リッツ・カールトン東京のバーに勤 務している卒業生の坂田訓規さん(2011 年)が、近況報告のために来校しました。

坂田さんは本校を卒業後、パレスホテル 大宮に入社。1年4か月ほど宴会サービス に従事していました。当時のマネージャー からの誘いもあってザ・リッツ・カールト ン東京に移り、その後はバーで活躍してい ます。





日本旅館国際女将会

~ 世界のホスピタリティ体験シリーズ 第4回 トルコ・ギリシャ・スタディツアーを開催~ 「ハラール」を学び、トルコ、ギリシャで植樹、現地観光関係者と交流を行うー

第4回目となる今年は、9月5日~11日、5泊7日の日程で12名が、 トルコ、ギリシャを訪問しました。

一行は、トルコ(イスタンブール、イズミール、エフェス、チェシュ メ)、ギリシャ(ヒオス島)を訪問。エフェスでは、エフェス遺跡、 聖母マリアの家等々、ヒオス島(ギリシャ)では、ネア・モニ修道院、 中世の市街メスタ村等々、イズミールでは、古代アゴラ博物館、コナッ ク広場、カデフィカレ要塞等々、イスタンブールでは、ボスポラス 海峡クルージングを始め、ブルーモスク、トプカプ宮殿、アヤソフィ ア博物館、グランバザール等々を視察訪問。これら通常の観光ルー トに加え、日本旅館及び女将の存在を印象付けるため、トルコ セ ルチュク、ギリシャ ヒオス島での植樹、イスタンブールのトルコ 旅行業協会を表敬訪問等、観光関係者との交流を行いました







日本旅館国際女将会(Okami Association of Japanese Ryokan)

1995 年、日本旅館国際女将会は、日本旅館の文化を海外に広く紹介し、訪日 外国人旅行者の拡大促進に努めると共に、会員相互の親睦と情報交換をとお して、旅館の品質向上と旅館業の国際化を図り、本会及び旅館業界ならびに わが国の観光業界の健全な発展に寄与することを目的として設立されました。 「Ryokan」「Okami」の二文字が国際語として通用することを目指しています。 本部を一般財団法人日本ホテル教育センターに置いています。

更に、「モスレム・ツーリズム」がクローズアッ プされつつある昨今、世界文化遺産でもあるトルコ 料理、地中海料理を現地で食し、イスラム圏の食習 慣「ハラール」を学びました。

今後も「世界のホスピタリティ体験シリーズ」で は、世界各地から日本を訪れる旅館滞在客の背景を 知り、様々な異文化、風俗習慣等を実体験すること で、これまでの日本の伝統的な「おもてなし」にさ らに磨きをかけ、グローバルな時代に対応するため、 諸外国を訪問していく予定です。



ソウル開催【日韓観光交流拡大シンポジウム】に参加

~ 2015年日韓国交正常化50周年に向けて~



2015 年日韓国交正常化 50 周年に向けて、民 間レベルでの人的交流拡大ブーム造成を目的に ホテルロッテソウルにおいて、日韓両国観光業 界共同参加のシンポジウムが開催されました。

日本からは、観光庁 久保成人長官を始め、 日本政府観光局 松山良一理事長、日本経済団

体連合会 大塚陸毅副会長、日本旅行業協会 田川博己会長、東北観光推進機構 高橋宏明会長、日本観光振興協会 山口範雄会長等のメンバーが参加され、一般 財団法人日本ホテル教育センターからも黒須健二朗事務局長と藤原弘一事業部 教育事業室長の2名が参加しました。

MICE(マイス)とは

MICE (マイス) は、Meeting (会議・研修)、Incentive (招待旅行、travel, tour)、 Conference (国際会議・学術会議) または Convention、Exhibition (展示会) また は Event の 4 つの頭文字を合わせた造語でビジネストラベルの一形態を指す。 会議 やセミナー、国際会議や総会・学会、展示会など、一度に大人数が動くだけでなく、 一般の観光旅行に比べ参加者の消費額が大きいことなどから、MICE の誘致に力を 入れる国や地域が増えている。日本でも、国のインバウンド振興策に連動し、自治 体による海外向けの誘致活動が盛んになっている。

MICE塾に関するお問合せ: 財団事業部 担当 藤原 TEL03-3360-8231 http://jec-jp.org/mice/



第6回観光庁長官表彰を受賞 ~【マイス塾】川島久男講師~



2014年10月1日、 観光庁にて「第6回観 光庁長官表彰」が行わ れ、マイス塾 (MICE 塾) 講師の川島久男氏 (川 島アソシエイツ 代表)

が【国際観光振興】の分野で受賞されました。

世界的な会議運営組織の団体や JNTO 国際会議支 援セミナーでの講演、各種ハンドブック等の刊行への 協力など、国際会議運営の専門家として地道な活動を 通して長年にわたり MICE の振興・発展に貢献。 我が 国の MICE 競争力強化策とりまとめにも寄与された事が 受賞理由です。おめでとうございます。



編集責任者:石塚 勉 編集担当:黒沢由美子

絡 先: 03-3360-8231 kurosawa@jhs.ac.jp